



安心・安全な地域生活のために
布田 恵美

問 街路樹の剪定（せんてい）計画はどうなっているのか。

建設部長 枝葉が信号や標識、電線類の障害になっていないか、また、住民や道路利用者の障害になっていないかを確認しながら、樹種や場所に応じて適切な時期に剪定を行っています。

問 晩秋には枯れ葉が道路上に舞うが、地域の方から清掃作業の相談は届いていないのか。

復興・都市整備課長 特に相談などはありません。

問 今後の中心市街地の人口推移は、ますます高齢化が進むと予測される。管理の点からも成長の緩やかな樹木への植え替えも視野に入れて計画してはどうか。

復興・都市整備課長 今後整備される街路については、成長の緩やかな樹種についての選定も含め検討してまいります。

問 雨水の流出抑制及び浸水被害の軽減策として、住宅への雨水貯留タンク設置補助金制度が始まって1年になる。設置メトリットを広く知らせるために、公共施設や学

校、幼稚園などの教育施設に掲示パネルとともに率先して設置してはどうか。

建設部長 提案があった既存の公共施設も、水害対策や非常時の雑用水保持のため率先して設置することや掲示パネルでPRを行い、子どもたちや市民の方が雨水貯留タンクに関心を持ち、防災意識を高めるよう検討してまいります。

エコポイント制度導入を

問 個人で地域の環境保全清掃活動に参加される方たちの登録制度を設け、回収物を決まった日時、場所に集め実績を記録する。参加した回数をポイント制にして1年間で規定回数以上参加された方にはグリーンピア岩沼の入浴券などを差し上げても励みになるのではないか。

市民経済部長 提案いただいたポイント制、それがさらに地域振興につながっていく先進事例もありますので、参考にしながら検討してまいります。



認知症対策
長田 忠広

問 認知症を早期に診断することが大切である。これまでも早期診断等について質問してきた。

そこで、これまでの早期診断の取り組みを伺う。

市長 市におきましても、急速な高齢化に伴い、認知症の方が間違いなく増えると思います。早期発見や早期診断、そして早期支援につながる体制、組織づくりがこれから課題になると思います。

健康福祉部長 これまでの早期診断の取り組みについては、認知症ケアパスを平成27年度中に発行をする予定です。その中に認知症のチェック項目を掲載する予定にしています。

早期診断対応、必要では

問 掲載するだけでなく行政も一緒にあって「早期診断」が必要だと思いがどうか。

健康福祉部長 このケアパスの次に、例えば簡易テストの実施についてもいろいろ検討している最中ですので、順を追っている実施させていただきたいと思います。

問 地域での支援強化から、企業などと提携し、地域での見守り体制を構築してはどうか。

市長 これまでも行政のみならず地域の企業の方、皆さまを対象にご協力をいただいています。これからも企業の方を含めて協力いただけるよう働き掛けていきたいと思えます。

問 協定を結んだ企業の方には、できる限りサポーター養成講座を受けていただく働き掛けも必要だと思いがどうか。

健康福祉部長 そのような情報提供について検討させていただきたいと思えます。

問 認知症サポーターを充実させるため、小学生を対象にした認知症サポーター養成講座を実施してはどうか。

健康福祉部長 小学生については、各小学校において、例えば総合的な学習の時間で認知症についての話をすることもありますので、まずはそのような形で進めていきたいと思えます。

